

動植名彙

九

二利 /
1270
9





動植名彙九

貝部 烏賊海鼠類

阿行

あしひ シタハ・セタハ・カラアハヒ・マロアハヒカイアフビ

本和下

石決明一名鯁魚甲一名馬蹄決明

以馬蹄故以名之

和名阿波比和鯁魚名似蛤偏著石肉乾可食云云又鮑

一名鯁和名阿波比又石決明食之心目聰了亦附石生故以名之

医阿波比乃加比

大五甲九

阿波比加良字蛎又蛇又

蛤又蝸又蛎

字彙鮑シタハ・アハヒ古節圓蛇

人丸集十八

万三

或娘子等贈裴乾鯁戲請通觀僧之咒願時通觀

作歌音わつこのおきよりちゆきそあつともこれ

動植名彙九



れうらゝのりあん 又六柱 上畧 わの底おきつゝまわら

玉ささるゝうらぎ出下畧 又土四十二

和玉 鞭 又 鮑 **藻十三六**

あきのふた アキカウ、アキセイタ

あきのかろ

本和下 甲香一名 流螺 阿岐乃 布多 **大七十五七十三** 阿岐乃加布

あきのせいた

和傳 甲香 安支乃不夫又仁之乃不夫 又之字止女乃不夫

あーらかに フシカニ、イネツキカニ、イナツキカニ

あーかに

和 螳螂 漢語抄云 葦原解虫 形似解虫而小也 **名** 螳螂 イネツキガニ

和 螳螂 海濱稻卷 蟹三類也

神樂歌

安志波良田乃以奈川支加仁乃也於乃礼佐
戸子女乎江須止天也左々介天波於呂之也於呂志天波
佐々介也加比奈介乎須苗也 **万十六** 三ウ 卯てらあまの
ををよつらつらかきまうてをを葦河亦を王台跡何為 年

あき オホアキ、ニシ

和 大辛螺 阿名 一名赤口螺云々 **伊字** 辛螺 **本和下** 廿六

辛 羸子 阿岐 **令** 義解 賦役令 **辛** 螺頭打六斗 **大五十八** 河

支免 庚庚接するふ介倍子あかみふ只ありあきのまをあきのまをかじ將
しらの致しはまをまのめく懸るなり

あきのかろ

伊字 辛螺頭折 賦役式云

あかあま

あぬ

大五弁神 阿奴之

あきり

十訓 アサリ **古節** 蛸 アサリ

あこや かい下見合へし

あまかひ

精進魚類

甘露 三五

伊字

いたやかひ イタラカヒ

いたらかひ

本和下 文蛤 加比多夜 **和** 文蛤 加伊太夜 表有文者也 **撮壤**

集 文蛤 イタラカヒ **甘露** 三五

今俗よりふいたら貝

いかめ

本和下 秦龜 此山中龜不入水云々 **和** 秦龜 伊之 此山

中之龜也 **字** 辟龜

いかに

和 石蟹 加以之 主海際石下故以名之

いかに イカノクロ

本和下九 烏賊魚 鴨鳥所化也 和名以加 **和烏賊** 和名常
 自浮水上鳥見以為云々 死下 啄之乃卷取之故以名之 **又烏賊**
 墨。鰈魚背有二大骨腹中有墨 和名以加 今案背大
 骨即所謂甲也

いかひ イカヒノタマ
アコヤ、カ

和貽貝一名黑貝 比伊加 **医** 石陰子 伊世又 **字雌**

大六十三 伊賀比乃多麻 令義解三賦後令 貽貝貽 貽貝貽 貽貝貽

貝後折六年云々

いりこ イリコ

和海鼠 和名古本朝式 似蛭而大者也 **伊字** 生海鼠 イモ

令義解三賦後令 熬海鼠二十六斤

いさひ イサヒ

大五十八 以波比又布久美

いさく

大六十八 以波久之

いとかめ

古節 鰈魚 イラカメ

いねつきかま あてらかみ糸

いねつきかま 同上

いさかひ

夫木七七 ぶぢ淳子こきひ 此の名貝いりくは浪をぬ

ふりかむ 金 **道輿四国雜記** あうりき貝 あうりき あうりき

て寄よりつせ貝をよまらり 可考 **本草三五**

いせかひ

藻三 五ウ

いじき

字 蝦又蛸

宇行

うむきかひ

本和下古

海蛤 宇字 加比 和海蛤一名魁蛤 和名宇無 蘇敬

注云亦謂花耳蛤中也 宇 蚌 ウムキ 蝦 同 蚶 同

紀景行紀 三 五十二年冬十月至上總国 從海路渡淡水

門云 出海中 仍得白蛤 云々 白蛤為贈進之云々 姓

氏録 左京皇別上 膳大伴部之系

紀 私記云白蛤 宇字 支云々

うみかめ かめノ糸

うみかめ

名 蟹 カニ 字 同

うみつひ

名 蛭 ツヒ 字 蛭

うみつふ ホラカヒ

和傳 海螺 宇美川不又 保良加比

うみ

本和下 六

靈高胤子 宇仁

和 靈高胤子

漢語抄云棘 兒似橘 甲高胤字宇仁

而圓其甲紫色生芒角者也 又云靈高胤子其甲紫色达角名

和 仁乃

今義解 三職役令

甲高胤天斗 又 甲棘高胤六斗

延 甲高胤

うまのつこ ウマノツカヒ

本和下 子

紫貝一名文貝 宇美乃久 保加比

和 紫貝一名大貝 万宇

乃久保

和傳 同

伊字

紫貝 ウマノツカヒ

和傳

貝子 紫色也

宇美乃久保加比 又須和宇加比

うまのつこ

ウマノツカヒ

本和下 藍

貝子一名馬齒馬珂 宇美乃久 保加比

名 貝子 ウマノツ

ノツカヒ

うららつ貝

夫

うつせうい

今昔物語廿四廿六

夫

藻 三

蘆 主

ふち衣をきささよふをうらつせ貝をうらつ

はつとぬれぬ

道興准后回國雜記

上総のふち種の藻とよとこ

るあて多貝をひらけしをうらつせ貝の藻のうらつせし藻と

秋のうらつせ貝をうらつせしをうらつせ貝とよとことて藻と

うめのとふかひ

交

うはかひ

精進魚類

藻三九

於行

おほあき ひき糸

おほし 谷ニシ

本和下其

螺肉 久呂

おほはまぐり

和玉

おほかめ

和

おほつめ

和

おほたけひ

日廣大辛螺肉 於保 白辛螺肉 之良 累小辛

あし とあきと の同物 考

同

大亀也 和玉 鼈

解大脚也 又云 擁斂其六螯長者也

字蚌

おふのひオフ

おふ

和辨色 成云 於富

本朝式文用白貝三字

令義解 三賦後令

白貝 直三斗

和傳

斛 蛤 於字乃

加行

かばかめ カメ ウミカメ

かめ

本和 下十八

敬亀 甲

加波 加女

同十五

亀 甲

加女 加美

和

大戴礼云 甲虫

三百二十四神亀

加名 加女

為之長也 兼名 苑云 亀一名 鼈 漢語抄云 甲美

和又 鼈

波 加茶

空 鼈

鼈 魚

同補 減蒲

結云

又 燕

カメ 鼈 同

和玉 龜

又 蟹

敬魚

カメ カワ

廿 深

十九

紀 垂仁卷

三十四年

春三月云々

大龜

出河中

天皇奉

予刺 龜云々

私記云 大龜

加波 加女

元真集

かいらめ

續紀 三

文武天皇

一年九月

近江國

獻白蟹

万 一

上畧

みねる

けりや

きねも

あたる

代と

つる

この川

下畧

又 十六

上畧

ちもや

うみ

しる

あめ

せき

くす

たけ

あや

きた

下畧

又 十七

かよ

本和下九

蟹加延

和蟹

字亦作蟹

八足虫也蜜餅不宜

蟹黄一食之

和王

蟹又蛭又螯又哺又蟪又蟪又蟪

万十六世

ソ不つくりをみる所一解虫は

藻

かよのものをほみ

和蟹不得先沙囊食之

沙囊和名加仁乃

在蟹腹内一者也

かさめ

本和下九

擁釵和名加

字

和擁釵

和名加

似蟹也

黄其螯備長寸者也

内膳式

根津擁釵

雜要抄保延三

仁和尚殿

擁釵

かみふ

本和下七

寄居

和名加美奈

和寄居子

和名加美奈 貌似蜘蛛者

也俗用蟹 塔二字 醫寄居 加字奈崔禹云云 兒似蜘蛛是物好容 乃過人物行人撥取嗽之以殼全大即走出亦拾殼食之

大五十七三

加美奈

倭按俗ニイフヤトリ蟹

かせ

本和下七

石陰子

加世

和石陰子

世加是物生海中陰精故

以名之

石陰子

加世 又伊加比

か

字集

蛭カウナ

名

蛭三・カウナ

撮壤

蛭カウ

本和下七

河貝子美奈

大五十七三

加美奈

和名抄本草カウナ考下

熊野紀行

かひ

和貝加比

水物也又云殼 和名 日上

虫之皮甲也云々

河貝子

其殼上黒髮也

字集

蛎カヒツ

又貝

かひたこ

和 日本紀私記云貝鮪加比

延

貝鮪鮓

かひのたま

大五

加比乃多末 表也貝ノ腹ニテリ

からすかひ

山家集下

波来と云くのをもよのふは貝ひるふ

おのろもろくろ夫

藻十三五

からあまひ

あまひ糸

かきカラキ

和 蝸相著虫殻似石也 **字** 蝸又蠓又蚶又蚶又螺 **七五**

加支加比一名 加良支

古談五

昔傳教大師叡山建之

時為三中央被川地之間 自地蝸多被川出

かたーかひ

夫 知家

さてもやまの行あまひのくさひをひやま

うみやまふい 藻十三五

かこらひ

和玉

唯唯字出猴属備考ス

かひあふびアハヒ

林節

鮑カイ 石決明

若狭浦人カイヨヒ伝ハリ

幾行

きし

和

和名木佐

蚌屬狀如蛤因而厚外有理縱橫即今蚌

也大五十八

支差加比

きざこ

林節

細螺キヒゴ

きんじ

藻 二三 きんじの条

苦行

くろし

おろし

くろし

渾

来々くるく

古節

鮓 又来々 ニカヒと和名もの以考下

古行

こかめ

和 攝龜

古加

小龜也

名 攝龜

コガメ

伊字

同

こもかひ

古節 薦貝

こ ナマコ・コノワタ

イリコ

本和下共

海鼠 古

和同

撮壞

海鼠腸 別

同

こやさかひ

藻十三世

こふ

和伊 古不

亀野之属 甲界ノ

佐行

さくえん サタエ

和栄螺子 江ノ 天文本佐太江

古節 栄螺子 仲 藻十三世

令義解 賦後令

螺三十二斤

諸蜂

神樂歌

山家集下 くもとのせと 浦前 海人のそとやさたえよりの

さとりそ まのゆ たるをさそと さくえん せむせの ふか

めいそ いそ のあまのけ さくら

さか たこ糸

さくらかひ

山家集下 風名 かむ 波のうらさひ ほ 貝より 三 汚江のらら

道興准后回國雜記 横井の浪と うら 横かひ を ちる者

いさそ 花 柳の浪 は 柳 の 名 の 貝

夫 雜七回 同九十九

志行

志みかひ シメ。シタ。

志め

和規貝 之々美 似蛤而小黑者也 **名**

和傳加 私家和名云 **大五** 之多美又之自民

万六 すゝみえのシ液の志みありしす志ぬひて此中

志みありん

志たみ

本和下 小贏子之多々美 **和** 小贏子 楊氏漢語抄云細

兒似甲之概而細小口有白王之蓋者也 **伊字** 小贏子

細螺同 規貝 **令義解** 賦役令 **海細螺** 石

拾遺 物名 志み あつまうや あつまうや 志み

そゆいひけれ 万十六 長廿九 上畧 きくきくをいひらひ持きてい

もちそつちやふり下畧 藻十三六

和 小羸 平口有白玉之蓋 和名之太々美乃不た

きくきく いそいそ

きろきかめカフ

續紀一十四 文武天皇四年八月長門國献白亀

志ほあゝかひ

藻十三五 和貝糸

志うとのあゝ あさのふと糸

志まあゝい

伊字 嶋鯪 シマアハビ 大膳式云

須行

すゝめかひ

渾 雀貝

藻十三五

夫

山家集下

波よるるたんのとまうのすゝめ貝うれきまをいひ

みんろつ甲

すゝめ チヒサキタ

本和下 其六

海蛸 和名多古之糸 小蛸 魚 頭脚并長 一尺許者 和 小蛸

魚 和名知比佐木太古 云須苗女

拾遺注 顯昭注

スルメト申入物ハ小蛸魚

ト書名トソノスカ夕引 引加ナトニ似タハカヒソモノニ用也 伊字ハ蛸魚

スルメ チヒサキタ

すたれかひ

渾 藤貝

藻十三五

夫

山家集下 波うらふ吹上の浪のすれ見風もくはるそをまひ

すかろ

古節 鹿子ルル又 螺小嬴カニノミ時属トキノタマ 紀十四上

すもろかひ

精進魚類 藻芳貝 藻三五

世行

せせい・せ工
ウツセカヒ

せい

せえ

本和下 芒 在蹄子和名 貌似大蹄而附石上生也 医 在蹄

子世 和 在蹄子和名 貌似大蹄而附石生者也 又云石花二

三月皆紫舒花附石而生故以名之 和 櫻世伊 伊字 在蹄

子世 撮壤 石花セかきのとくあり 下学集 石花 精進魚

類 石花中なるせい ときあめくそ年うら

せみかひ

藻三五

夫

せふか

伊字 龜 セナカ

せたえ 石まひ糸

曾行

そそひ

因 山家集下 肉子貝合せんとききとひたろふ合りてハ波
あらふ衣のこゝの神貝と云きまは風のこゝみ行るは神貝
れ貝ます 神のち貝すめ貝なる貝木の所あり

藻三五

太行

たつひ

本和下 田中螺汁一名螭螺 和名太都此 和田中螺其有稜者

謂螭螺 和名多都此 たつひと目物れ考

たかひ タニ

本和下 蚌蛤 和名多都此 字 大五 多加比 又多示之

又多豆布

たふ

小彦名乃遺法 田螺 田志

たのつひ

名 蛸 タツヒ

たつひ

大五巴

多加良加比

たか

名

蛭 多カ 志み考

たこサカ

ちいさきたこ
かいたこ

本和下美

海蛸 多古

和

海蛸子

古

貌似人課而四頭者也

長丈餘者謂之海肌子

和

蛸又

蟪

又

蛸

字

蛸

内膳式

蛸一斤 干蛸一斤

主計式

乾蛸 蛸 蛸 貝 蛸 蛸

雜要抄

干物 蛸

厨事類記

燒 蛸

知行

ちいさきたこ

すめ糸

豆行

つかよ

大五十五

豆加迹

つのかよ

大七十七八

都乃加迹

つみかよ

大八十六

都美加迹

字集

腰

和玉

同

つひのふた

和

甲羸中有角蓋

和名都比乃不

蓋上錯似錯似較魚皮者也

止行

とふかめ

大五十四

度布加免

奈行

あからめ

伊字 蛸カ

撮壤集

貝ノ

長老カラメ

あてーこかひ

夫

藻十三五

あまこ

伊字 王海カ

あみまの

藻十三五

仁行

にー

和 小辛螺和名

又云 蓼螺子

字 蚌

和玉 螺

廣庭按すまはにを 一貝の名すまは 螺の熱名あり 俗すま 田あり 之あり あり

にーのふた

あきのふたの糸

にふ

かすな糸

字 蛸

波行

はまろり

和 蚌蛤 放甲ニ音蚌或作一名含蚌 **医十** 車螯 註一蛤也

和玉 蛸 又蠶又蟹又蚌 又蚌 又蚌 又蚌 **藻** 三六

和傳 真珠 波未久利 海蛤 波乃久利 **大五** 四九 波乃久利

小侍從集 河津香丸のりよき名く此形ぬる泳うるときめかそ

ゆらんこそめしとくもてらかりとよそよりそひや

のそはかりふきしあふらば方のぬれきぬとしれ **扶木抄**

家集 後形野原山をわきしよきせはもゆくとそのわたり

のせよとらふ **山家集** 伊勢かのやこのこいみさるゆりあめ

まふそとのあすつてとさよあこしく **和歌** こそをゆかりとさ

あめたるふらふひききる人こそあめしとてきききりしけれ

あひあをきききりあひあをきききりあひあをきききり
今そしらふたよららのもゆきけりけりせこそ **和歌** あり
たり **月詣集** ときき人をあそよと成よあつ **源家** 女は
りあふむあやのまきりあふとよはるかみりよの浦よすむとも

續古事

もつをかよ アヒハカニ
イナツキカニ

名 螯 蛸 液 少 加 二

あひあをきききりあひあをきききりあひあをきききり

ひめかよ

此行

名 虱 ヒメカニ

不行

ふた ついのふく
しんじのやうな

うらみ けいふ

ふせかい

大丸三全 布世加比

うらみ

夫 舟のえ款

ふとくうかい

藻十三五

保行

ほらてかひ

古節 帆立貝

ほや

和老海鼠 保夜俗用此
保夜子字

古節

ほらかひ

和螺

古節

和玉螺

藻十三五

末行

まてのかひ

本和下 馬刀一名馬蛤 和名末天
乃加北

和馬蛤 和名天蛭 主成

天万 蚌屬也 和玉 蛭 又 蠶 同

字 蛭 三子

まよりの

和石炎螺 和万子 伊字同

まろあまひ

あまひ糸

まさりあひ

夫 山家集下 志布志のまき 和の山貝のまきとてそのま

とつあまひ

まふ

字 蛭

まかきから

貝の形歟可考

大七十二六十一

万加支加良

美行

みつかよ

大

美豆加 尔

みつふね

ミツカヒ

みそかひ

大五十四

美豆布祢 又 美曾加比

今昔物語二十八

溝貝 古

事記

ナルダヒコヒラフ貝ノ故事ニヨク似たり考ヘシ

藻十三五

古本五九三十五語

みやこ貝

大

藻十三五

みか

ミカ

武行

いよのくほかい

ウツリ
オカヒ

本和下口

紫貝

年未乃久
保加比

いよのつほかい

ウツリ
ツミヒ

大和下苗

貝子一名貝齒馬珂

ウツリ

和傳

馬刀

年未乃都保加比
未天乃加良

いらさきのつほかい

夫

藻十三五

伊字 貝子

也行

や

本和下 芒

海觸子

和名也之

和海觸子

和名也之此物含神靈見

久即没海中似觸髻有鼻目故以名之

やくのかい

つひ糸

藻十三五

與行
よるひのひ
精進魚類

和行
よすれかひ
万三十七
大伴のうらの海方の志具あまの姪をよすれて
や万六十五
よすれかひ
藻十五

江行

江かめ

字 蚕

遠行

をかきのかひ

本和下三

牡蠣 手加岐乃
加比

をやかひ

大五克

表也加比

をよかひ

精進魚類

をみふかひ

精進魚類



